



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月1日

上場会社名 アステラス製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4503 URL <https://www.astellas.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岡村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) チーフコミュニケーションズ & IRオフィサー (氏名) 池田 博光 (TEL) 03(3244)3201

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	767,138	0.6	51,016	△57.4	52,178	△56.7	31,670	△67.2	31,670	△67.2	188,288	△22.7
2023年3月期第2四半期	762,185	17.0	119,891	33.0	120,480	35.2	96,434	34.7	96,434	34.7	243,707	247.8
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2024年3月期第2四半期	17.66				17.60							
2023年3月期第2四半期	52.87				52.85							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,543,021	1,639,345	1,639,345	46.3
2023年3月期	2,456,518	1,507,954	1,507,954	61.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,608,000	5.9	123,000	△7.5	121,000	△8.6	85,000	△13.9	85,000	△13.9	47.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,608,000	5.9	199,000	△30.6	154,000	△31.4	85.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期第2四半期	1,809,663,075株	2023年3月期	1,809,663,075株
② 期末自己株式数	2024年3月期第2四半期	16,796,542株	2023年3月期	12,900,609株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期第2四半期	1,793,535,821株	2023年3月期第2四半期	1,823,828,962株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2023年11月1日(水)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けに説明会(ライブ動画配信)を開催する予定です。この説明会の内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(企業結合)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第2四半期（2023年4月1日から9月30日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、コア営業利益及びコア四半期利益は減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2023年3月期)	当第2四半期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	762,185	767,138	+4,953 (+0.6%)
売上原価	151,651	143,359	△8,292 (△5.5%)
販売費及び 一般管理費	307,956	347,462	+39,506 (+12.8%)
研究開発費	139,177	141,947	+2,770 (+2.0%)
無形資産償却費	19,967	33,733	+13,766 (+68.9%)
無形資産譲渡益	172	9,417	+9,245 (—)
持分法による投資損益	1,779	△237	△2,016 (—)
コア営業利益	145,384	109,817	△35,568 (△24.5%)
コア四半期利益	119,973	89,768	△30,205 (△25.2%)
基本的1株当たり コア四半期利益(円)	65.78	50.05	△15.73 (△23.9%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ、尿路上皮がん治療剤パドセブ、急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が順調に拡大しました。
- ・ パドセブは、特に米国及び欧州で売上が大きく伸長しました。
- ・ 一方で、米国にて発売している心機能検査補助剤レキスキャンの売上が後発品の影響により大幅に減少しました（米ドルベースで前年同期比87.6%減）。

以上の結果、売上収益は、7,671億円（同0.6%増）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、6,238億円（同2.2%増）となりました。売上原価率は、前年同期に比べ1.2ポイント低下し、18.7%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、3,475億円（同12.8%増）となりました。成熟製品における費用削減（同約40億円減）を進めた一方で、主に為替の影響（同161億円増）や閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAHに関連する費用の増加（同約130億円増）、さらにIveric Bio社の買収による影響（約100億円）により、総額として増加しました。なお、米国におけるXTANDIの共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、2,544億円（同16.5%増）となりました。
- ・ 研究開発費は、1,419億円（同2.0%増）となりました。主に、抗Claudin 18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブにおける開発費用が想定を上回ったことに加え、為替の影響（同45億円増）やIveric Bio社の買収による影響（約40億円）により、総額として増加しました。
- ・ 無形資産償却費は、337億円（同68.9%増）となりました。Iveric Bio社買収により獲得し、当第2四半期に発売となった地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAYの無形資産償却費が増加の主な要因となりました。

以上の結果、コア営業利益は1,098億円（同24.5%減）、コア四半期利益は898億円（同25.2%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第2四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前年同期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては378億円の増加、コア営業利益においては110億円の増加の影響がありました。

期中平均レート	前第2四半期	当第2四半期	変動
米ドル/円	134	141	7円安
ユーロ/円	139	153	15円安

<連結業績（フルベース）>

当第2四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。
売上収益は増加した一方、営業利益及び四半期利益は減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第2四半期における「その他の収益」は71億円（前年同期：162億円）、「その他の費用」は659億円（同：417億円）となりました。

「その他の費用」として、Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払（367億円）や、主に為替レートの変動による抗Claudin 18.2モノクローナル抗体ゾルベツキシマブの条件付対価に係る公正価値の増加（88億円）を計上しました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2023年3月期)	当第2四半期 (2024年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	762,185	767,138	+4,953 (+0.6%)
営業利益	119,891	51,016	△68,875 (△57.4%)
税引前四半期利益	120,480	52,178	△68,302 (△56.7%)
四半期利益	96,434	31,670	△64,764 (△67.2%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	52.87	17.66	△35.22 (△66.6%)
四半期包括利益	243,707	188,288	△55,419 (△22.7%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第2四半期 (2023年3月期)	当第2四半期 (2024年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	3,320	3,609	+8.7%
パドセブ	208	327	+57.4%
ゾスパタ	235	263	+12.1%
VEOZAH	—	13	—
IZERVAY	—	12	—
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	934	958	+2.6%
プログラフ*1	1,004	1,000	△0.3%

<XTANDI/イクスタンジ>

- ・ 全ての地域で売上が拡大しました。
- ・ M1 CSPC (転移性去勢感受性前立腺がん) での処方引き続き拡大し、売上に貢献しました。

<パドセブ>

- ・ 発売している全ての地域で売上が拡大しました。
- ・ 米国において、「局所進行性または転移性尿路上皮がんを対象とした一次療法としてのペムプロリズマブ併用療法」での処方が想定を上回るスピードで浸透し、売上に大きく貢献しました。

<ゾスパタ>

- ・ グレーターチャイナ*2を除く全ての地域で売上が拡大しました。
- ・ グレーターチャイナにおいても前第2四半期に起きた在庫積み増しの影響を除くと、通期予想に沿って推移しました。

<VEOZAH>

- ・ 閉経に伴う中等度から重度の血管運動神経症状の治療剤として、2023年5月に米国で発売になりました。

<IZERVAY>

- ・ 地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤として、2023年9月に米国で発売になりました。

<ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ>

- ・ 地域ごとに増減はあったものの、グローバルの売上は拡大しました。

<プログラフ>

- ・ グローバルの売上は通期予想に沿って推移したものの、地域ごとに増減があり前年同期と比べてわずかに売上が減少しました。

*1 プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。日本、エスタブリッシュドマーケット及びインターナショナルマーケットは増加した一方、米国及びグレーターチャイナは減少しました。

(単位：億円)

	前第2四半期 (2023年3月期)	当第2四半期 (2024年3月期)	増減率
日本	1,333	1,376	+3.2%
米国	3,283	3,067	△6.6%
エスタブリッシュド マーケット*1	1,756	1,991	+13.4%
グレーターチャイナ*2	450	449	△0.3%
インターナショナル マーケット*3	679	746	+10.0%

(注) 前第3四半期から、オーストラリアのコマーシャル区分をエスタブリッシュドマーケットからインターナショナルマーケットに変更しています。前第2四半期の金額は当該変更を反映しています。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ 等

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナルマーケット：中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、ロシア、韓国、オーストラリア、輸出売上 等

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末(2023年9月30日時点)の連結財政状態計算書の概要及び前期末からの主な変動は以下のとおりです。

2023年7月にIveric Bio社を買収して当社の連結子会社にしたことに加え、同社の買収資金に充当するために銀行借入れや、社債及びコマーシャル・ペーパーの発行による資金調達を行ったことに伴い、資産、負債に大きな変動がありました。

【資産】

総資産は、3兆5,430億円(前期末比1兆865億円増)となりました。

<非流動資産>当第2四半期末:2兆4,263億円(同1兆197億円増)

- ・有形固定資産は2,966億円(同101億円増)となりました。
- ・2023年7月にIveric Bio社を買収したことに伴い、のれんは4,038億円(同754億円増)、無形資産は1兆5,326億円(同9,701億円増)となりました。

<流動資産>当第2四半期末:1兆1,168億円(同668億円増)

- ・現金及び現金同等物は3,340億円(同428億円減)となりました。

【資本】

資本合計は、1兆6,393億円(同1,314億円増)となり、親会社所有者帰属持分比率は46.3%となりました。

- ・四半期利益317億円を計上した一方で、剰余金の配当539億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、1兆9,037億円(同9,551億円増)となりました。

<非流動負債>当第2四半期末:7,414億円(同5,189億円増)

- ・Iveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当四半期末の残高は社債2,500億円(同2,000億円増)、長期借入金2,231億円となりました。
- ・主にIveric Bio社の買収に伴い、繰延税金負債が866億円増加しました。

<流動負債>当第2四半期末:1兆1,623億円(同4,362億円増)

- ・Iveric Bio社の買収資金に充当するために資金調達を行い、当四半期末の残高はコマーシャル・ペーパー3,650億円(同2,900億円増)、1年以内返済予定の長期借入金516億円となりました。
- ・その他の流動負債は4,558億円(同731億円増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、491億円（前年同期比908億円減）となりました。

- ・ Iveric Bio社の買収に伴う権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払367億円がありました。
- ・ 法人所得税の支払額が150億円（同202億円減）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△7,833億円（同7,487億円支出増）となりました。

- ・ Iveric Bio社の買収に伴い、子会社の取得による支出が7,601億円（同7,601億円増）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、6,702億円（前年同期は814億円の支出）となりました。

- ・ Iveric Bio社の買収に必要な資金を調達したことに伴い、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加が2,749億円、社債の発行及び長期借入れによる収入が4,705億円ありました。
- ・ 自己株式の取得による支出107億円（前年同期比2億円支出増）がありました。また、配当金の支払額は539億円（同82億円増）となりました。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,340億円（前期末比428億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。当期（2024年3月期）の通期連結業績予想は下表のとおりです。

後発品の影響によりレキスキャンの売上の減少を見込む一方で、好調ながん領域の3製品（XTANDI／イクスタンジ、パドセブ、ゾスパタ）の状況や為替の円安動向を踏まえ、2023年4月に公表した売上収益の業績予想を上方修正しました。

一方、Iveric Bio社の買収による販売費及び一般管理費、研究開発費、無形資産償却費、権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払による費用の増加を織り込み、コアベース及びフルベースの利益段階を下方修正しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前回予想* (2024年3月期)	最新予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)	前期実績 (2023年3月期)
売上収益	1,520,000	1,608,000	+88,000 (+5.8%)	1,518,619
販売費及び一般管理費	661,000	737,000	+76,000 (+11.5%)	630,272
研究開発費	251,000	290,000	+39,000 (+15.5%)	276,128
コア営業利益	290,000	199,000	△91,000 (△31.4%)	286,902
コア当期利益	228,000	154,000	△74,000 (△32.5%)	224,619
基本的1株当たり コア当期利益（円）	126.89	85.87	△41.02	123.42

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前回予想* (2024年3月期)	最新予想 (2024年3月期)	増減額 (増減率)	前期実績 (2023年3月期)
売上収益	1,520,000	1,608,000	+88,000 (+5.8%)	1,518,619
営業利益	259,000	123,000	△136,000 (△52.5%)	133,029
税引前利益	260,000	121,000	△139,000 (△53.5%)	132,361
当期利益	204,000	85,000	△119,000 (△58.3%)	98,714
基本的1株当たり 当期利益（円）	113.54	47.39	△66.15	54.24

*コアベースの業績予想は2023年4月に公表、フルベースの利益段階は2023年8月に公表

[通期の想定為替レート]

2024年3月期（想定）：140円／米ドル、152円／ユーロ

2023年3月期（実績）：135円／米ドル、141円／ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	762,185	767,138
売上原価	△151,651	△143,359
売上総利益	610,534	623,779
販売費及び一般管理費	△307,956	△347,462
研究開発費	△139,177	△141,947
無形資産償却費	△19,967	△33,733
無形資産譲渡益	172	9,417
持分法による投資損益	1,779	△237
その他の収益	16,250	7,087
その他の費用	△41,743	△65,888
営業利益	119,891	51,016
金融収益	4,493	6,150
金融費用	△3,904	△4,989
税引前四半期利益	120,480	52,178
法人所得税費用	△24,046	△20,508
四半期利益	96,434	31,670
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	96,434	31,670
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	52.87	17.66
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	52.85	17.60

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	96,434	31,670
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	3,184	△4,302
確定給付制度の再測定	1,375	2,201
小計	4,559	△2,102
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	142,714	164,304
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△7,682
ヘッジコスト	—	2,098
小計	142,714	158,720
その他の包括利益	147,273	156,618
四半期包括利益合計	243,707	188,288
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	243,707	188,288

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	286,459	296,555
のれん	328,411	403,822
無形資産	562,496	1,532,551
売上債権及びその他の債権	24,173	21,693
持分法で会計処理されている投資	12,689	15,344
繰延税金資産	84,169	44,284
その他の金融資産	97,886	103,293
その他の非流動資産	10,280	8,722
非流動資産合計	1,406,564	2,426,265
流動資産		
棚卸資産	174,386	213,648
売上債権及びその他の債権	427,965	487,893
未収法人所得税	17,813	16,710
その他の金融資産	19,784	29,656
その他の流動資産	32,428	33,653
現金及び現金同等物	376,840	333,993
小計	1,049,216	1,115,553
売却目的で保有する資産	738	1,203
流動資産合計	1,049,954	1,116,756
資産合計	2,456,518	3,543,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	181,280	182,148
自己株式	△25,123	△34,417
利益剰余金	908,158	884,514
その他の資本の構成要素	340,640	504,100
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,507,954	1,639,345
資本合計	1,507,954	1,639,345
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	50,000	473,054
仕入債務及びその他の債務	4,217	2,299
繰延税金負債	6,048	92,673
退職給付に係る負債	24,818	24,507
引当金	6,537	5,394
その他の金融負債	89,924	100,815
その他の非流動負債	40,987	42,675
非流動負債合計	222,530	741,417
流動負債		
社債及び借入金	75,000	416,558
仕入債務及びその他の債務	140,236	147,250
未払法人所得税	5,137	31,324
引当金	17,855	12,647
その他の金融負債	105,131	98,702
その他の流動負債	382,675	455,777
流動負債合計	726,034	1,162,259
負債合計	948,564	1,903,676
資本及び負債合計	2,456,518	3,543,021

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2022年4月1日残高	103,001	179,467	△13,934	944,261	630	233,621
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	96,434	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	142,714
四半期包括利益合計	—	—	—	96,434	—	142,714
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,553	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,054	1,162	△98	△10	—
配当金	—	—	—	△45,677	—	—
株式報酬取引	—	1,733	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	8,652	—	—
所有者との取引額合計	—	679	△9,391	△37,124	△10	—
2022年9月30日残高	103,001	180,147	△23,325	1,003,572	620	376,335

2023年4月1日残高	103,001	181,280	△25,123	908,158	536	324,276
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	31,670	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	164,304
四半期包括利益合計	—	—	—	31,670	—	164,304
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△10,732	—	—	—
自己株式の処分	—	△1,274	1,439	△109	△45	—
配当金	—	—	—	△53,903	—	—
株式報酬取引	—	2,142	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△1,303	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	868	△9,294	△55,315	△45	—
2023年9月30日残高	103,001	182,148	△34,417	884,514	492	488,580

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	その他の資本の構成要素					合計	
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	ヘッジコスト	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計		
2022年4月1日残高	—	—	13,261	—	247,512	1,460,308	1,460,308
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	—	—	96,434	96,434
その他の包括利益	—	—	3,184	1,375	147,273	147,273	147,273
四半期包括利益合計	—	—	3,184	1,375	147,273	243,707	243,707
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10,553	△10,553
自己株式の処分	—	—	—	—	△10	0	0
配当金	—	—	—	—	—	△45,677	△45,677
株式報酬取引	—	—	—	—	—	1,733	1,733
利益剰余金への振替	—	—	△7,277	△1,375	△8,652	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△7,277	△1,375	△8,662	△54,497	△54,497
2022年9月30日残高	—	—	9,168	—	386,123	1,649,518	1,649,518

2023年4月1日残高	—	—	15,827	—	340,640	1,507,954	1,507,954
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	—	—	31,670	31,670
その他の包括利益	△7,682	2,098	△4,302	2,201	156,618	156,618	156,618
四半期包括利益合計	△7,682	2,098	△4,302	2,201	156,618	188,288	188,288
所有者との取引額							
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△10,732	△10,732
自己株式の処分	—	—	—	—	△45	12	12
配当金	—	—	—	—	—	△53,903	△53,903
株式報酬取引	—	—	—	—	—	2,142	2,142
利益剰余金への振替	—	—	3,503	△2,201	1,303	—	—
非金融資産への振替	7,682	△2,098	—	—	5,584	5,584	5,584
所有者との取引額合計	7,682	△2,098	3,503	△2,201	6,842	△56,898	△56,898
2023年9月30日残高	—	—	15,028	—	504,100	1,639,345	1,639,345

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	120,480	52,178
減価償却費及び無形資産償却費	59,724	62,213
減損損失(又は戻入れ)	22,768	13,201
金融収益及び金融費用	△589	△1,161
棚卸資産の増減額	113	△28,622
売上債権及びその他の債権の増減額	△13,978	△6,296
仕入債務及びその他の債務の増減額	△19,359	△29,457
その他	5,893	1,982
小計	175,052	64,037
法人所得税の支払額	△35,195	△14,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,857	49,082
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,795	△20,053
無形資産の取得による支出	△25,894	△27,250
無形資産の売却による収入	172	10,685
資本性金融商品の売却による収入	12,104	—
子会社の取得による支出	—	△760,051
利息及び配当金の受取額	1,022	4,611
その他	△8,268	8,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,660	△783,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額	△15,000	274,855
社債の発行及び長期借入れによる収入	—	470,490
自己株式の取得による支出	△10,553	△10,732
親会社の所有者への配当金の支払額	△45,677	△53,903
リース負債の返済による支出	△8,853	△6,699
その他	△1,348	△3,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,431	670,156
現金及び現金同等物の為替変動による影響	21,321	21,246
現金及び現金同等物の増減額	45,087	△42,847
現金及び現金同等物の期首残高	315,986	376,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	361,073	333,993

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(企業結合)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

IVERIC bio, Inc. の取得

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	IVERIC bio, Inc. (以下「Iveric Bio社」)
事業の内容	医薬品の研究開発

② 取得日

米国東部時間 2023年7月11日

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合を行った主な理由

当社は、VISION「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向け、最先端の「価値」駆動型ライフサイエンス・イノベーションを目指しています。研究開発戦略であるFocus Areaアプローチとして、多面的な視点でバイオロジーとモダリティ/テクノロジーの独自の組み合わせを見出し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます。現在、「再生と視力の維持・回復」を含む5つのPrimary Focusを特定し、優先的に経営資源を投下しています。Iveric Bio社買収(以下「本買収」)は、当社が掲げる重点領域における製品ポートフォリオ構築のための重要なステップとなります。

Iveric Bio社は、眼科領域において新規治療薬の研究開発に注力しています。地図状萎縮(Geographic Atrophy:GA)を伴う加齢黄斑変性(Age-related Macular Degeneration:AMD)の治療薬として開発中のIZERVAY(一般名:avacincaptad pegol、以下「ACP」)硝子体内注射液について、米国食品医薬品局(FDA)から2023年8月4日(現地時間)に承認を取得しました。

補体因子C5阻害剤であるACPは、GAを伴うAMDの治療薬候補であり、十分な治療を受けていない多くの患者さんに価値を提供できる可能性があります。ACPは、これまでに2つのピボタル試験(GATHER1, 2試験)において、主要評価項目(GAの進行抑制)を統計学的に有意に達成し、この適応症についてFDAからブレイクスルーセラピー指定(Breakthrough Therapy Designation)を受けています。

Iveric Bio社のリードプログラムであるACPを獲得することが、当社の経営計画2021で定める2025年度までの売上目標に貢献するだけでなく、ACPは、fezolinetantやPADCEVとともに収益を生み出す柱として、2020年代後半に控えるXTANDIの独占期間満了による売上減少を補うことが期待されています。

また、Iveric Bio社の買収により、当社は、コマーシャルチームや、専門家との広範なネットワーク、医療機関とのパートナーシップを含む、眼科領域における基盤ケイパビリティを獲得します。このようなケイパビリティ獲得を通じて、当社は、Primary Focus「再生と視力の維持・回復」における目標達成に向け、臨床開発・市場アクセスを加速させていきます。

(2) 取得日現在における取得資産、引受負債及び支払対価の公正価値

	金額 (単位: 百万円)
無形資産	884,331
FVTOCIの金融資産 (負債性)	9,986
現金及び現金同等物	44,649
その他の資産	2,607
繰延税金負債	△149,046
短期借入金	△15,079
その他の負債	△7,984
取得資産及び引受負債の公正価値 (純額)	769,464
ベース・アジャストメント	△5,584
のれん	35,236
合計	799,116
支払対価の公正価値の合計	799,116

上記のうち、一部の金額については取得対価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な合理的情報に基づき算定された暫定的な公正価値となっています。

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

(3) キャッシュ・フロー情報

	金額 (単位: 百万円)
支払対価の公正価値の合計	799,116
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△44,649
ベース・アジャストメント	5,584
子会社の取得による支出	760,051

上記のほか、Iveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払36,748百万円を企業結合とは別個に認識し、要約四半期連結純損益計算書の「その他の費用」に計上しています。

(4) 取得関連費用

3,511百万円

取得関連費用は、要約四半期連結純損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれています。

(5) 要約四半期連結純損益計算書に与える影響

- ① 当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の税引前四半期利益 (△は損失)

△59,800百万円

(注) 上記には、企業結合とは別個に認識されたIveric Bio社の権利確定前のストック・オプション等の株式報酬に係る支払36,748百万円が含まれています。

- ② 企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益計算書の税引前四半期利益に与える影響額 (△は損失)

△51,462百万円

(注) この影響額は、Iveric Bio社の2023年4月1日から取得日までの業績に基づいて算定しています。